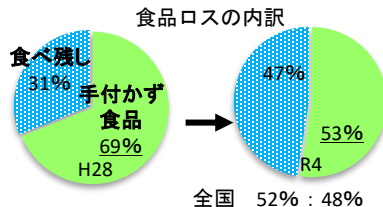


## 【家庭系】

### 1 組成調査及び排出量推計結果 (H28→R4)

- 食品廃棄物：8.8万トン→5.6万トン(-3.2万トン)
- 食品ロス：2.7万トン→1.9万トン(-0.8万トン)
- 1人1日あたりの食品ロス発生量(推計値)：69g→50g (-19g)**
- 食品ロスの主な内訳：手付かず食品の割合が減少(69%→53%)

		食品廃棄物の年間発生量		1人1日当たりの食品ロスの発生量
		発生量	うち食品ロスの発生量	
富山県	H28	8.8万t	2.7万t	69g
	R4	5.6万t	1.9万t	50g
全国	R3	290.6万t	243.6万t	53g



### 2 アンケート結果 (N=2,215世帯(回答率55.4%、対象：4000世帯))

#### (1) 食品ロス形態別

##### ① 手付かず食品

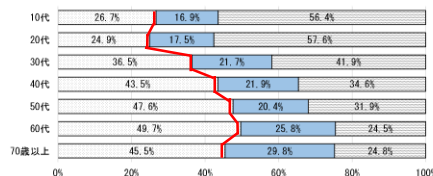
- 85%の家庭で賞味・消費期限切れ等の手付かず食品が発生
- 季節野菜は年間を通して廃棄される傾向



手付かず食品 (第2回調査)

##### 【フードドライブ】調査

- 認知度は39.5%、特に若い世代で低い傾向。
- 寄付しようと思わない主な理由は「寄付できる食品がないため」、「実施日時・場所を知らないため」



- 知っていた。
- 言葉は聞いたことがあったが、内容は知らなかった。
- 言葉も内容も知らなかった。



食べ残し (第2回調査)

##### ② 食べ残し

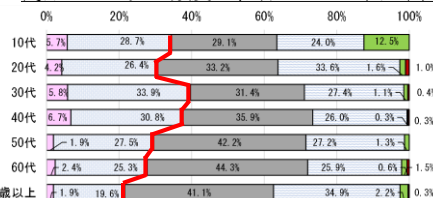
- 食品が傷みや暑い夏季(7月)は特に食べ残しが増(1.5倍)

○ 家庭ごみ100袋中の食品ロス量(組成調査実測値から換算したもの)

	4・10・1月	7月(第2回調査)
食べ残し	13.8 kg	20.9 kg
手付かず食品	16.2 kg	18.5 kg

#### (2) 食品ロスに対する意識

- 食品ロス削減の取組みが自分にとって意味や効果が「あると思う」は78.1%
- 一方で20~30代が食品ロス削減の取組みの意味や効果を感じられていない傾向
- 食品ロスの発生頻度は、特に30~40代で高い傾向(子を持つ親世帯の割合が多い)



- 1. 頻繁に(ほぼ毎日)発生する。
- 2. 時々(週に数回)発生する。
- 3. あまり発生しない。(月に数回発生する。)
- 4. ほとんど発生しない。(発生するのは年に数回以内。)
- 5. わからない。
- 6. その他

## 【事業系】

【調査概要】N=1,013事業所(回収率25.3%、対象4,000事業所)

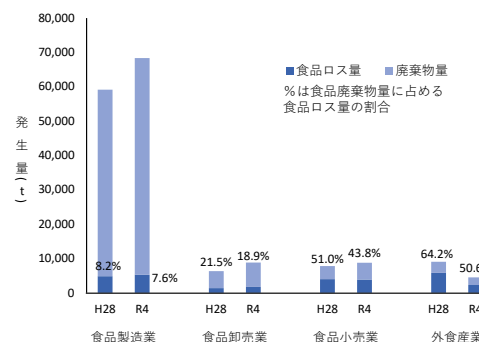
### 1 食品廃棄物・食品ロスの年間発生量 (H28→R4)

		食品廃棄物発生量(A)		食品ロス量(B)		食品ロス量の割合(B/A)
		発生量	発生量	発生量	発生量	
富山県	H28	8.2万トン	1.6万トン	19.4%		
	R4	9.0万トン	1.3万トン	-5.1	14.3%	
全国	R3	1669.8万トン	279万トン	16.7%		

食品廃棄物量：8.2万トン→9.0万トン(+0.8万トン)  
 食品ロス量：1.6万トン→1.3万トン(-0.3万トン)  
 食品ロス割合：19.4%→14.3%(-5.1ポイント)

### 1人1日あたり食品ロス発生量(事業系) 41g→35g(-6g)

### 2 業種別の食品廃棄物発生量



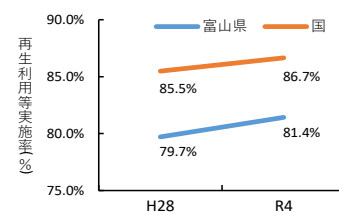
【製造業・卸売業・小売業】  
 前回調査より食品ロスの割合は減っているものの、より一層の推進が必要

【外食産業】  
 「食べきり3015」運動や「食べきりサイズメニュー導入促進事業」などの取組みの効果があった  
 ただし、他業種と比べ食品ロスの割合が高い

### 3 種類別の食品ロス発生量・発生割合

	① 製造・調理くずのうち可食部	② 消費・賞味期限切れや鮮度が落ちたことにより、製造・調理に利用できなくなった食材	③ 試作品、検査品、サンプル	④ 製造過程での印刷ミス、流通過程での汚損・破損などによる規格外品	⑤ 定番カット食品や販売期限切れ等のため返品された廃棄処分又は自社廃棄したもの	⑥ 消費・賞味期限切れや鮮度が落ちたことにより、販売できなくなった商品	⑦ 食べ残し	⑧ その他
H28	発生量(t) 5,528	487	304	1,484	55	4,751	3,746	20
	割合 33.8%	3.0%	1.9%	9.1%	0.3%	29.0%	22.9%	0.1%
R4	発生量(t) 6,326	969	210	358	137	5,287	1,323	281
	割合 42.5%	6.5%	1.4%	2.4%	0.9%	35.5%	8.9%	1.9%

### 4 食品廃棄物の再生利用等実施率



本県の再生利用等実施率はH28 79.7%→R4 81.4%と前回調査より増加  
 しかし、全国よりは低い